

第10回湖北広域行政事務センター新施設建設候補地選定委員会 議事概要

1. 開催日時 平成29年6月13日 午前10時00分～午前12時00分
2. 開催場所 湖北広域行政事務センター クリスタルプラザ（長浜市八幡中山町200番地）
工場棟3階 研修室
3. 出席者 **【委員】**（順不同）
金谷 健委員長、及川 清昭副委員長、鈴木 康夫委員、竹内 寛委員
橋本 良弘委員、喜田 和男委員、富永 国男委員
熊谷 定義委員、卯田 隆委員、今井 克美委員、山田 英喜委員
【事務局】
八上事務局長、辻井施設整備課長、福山施設整備課副参事、
樋口施設整備課主幹、岡施設整備課主査、勝木施設整備課主事
【支援委託業者】
パシフィックコンサルタンツ(株)
4. 傍聴者 なし ※非公開のため
5. 議題
 - (1) 報告事項
 - ①議事概要について
 - (2) 審議事項
 - ①選定評価結果報告書の案について
 - ・多面的評価の取りまとめ
 - ・報告書全体
 - ②その他
 - ・センター管理者への報告について
6. 会議内容
 - ①開会
 - ②報告事項
 - ③選定評価結果報告書の案について
 - ④その他
 - ⑤管理者あいさつ
 - ⑥閉会

①開 会

午前 9 時 55 分開会

②報告事項

(説明事項)

- ・議事概要について

(質疑)

委員長 : 第 8 ～ 10 回委員会の議事概要は、各委員が確認した後、センターが、選定委員会の評価結果報告書を公表するときにあわせて公表するということか。

事務局 : そうである。

③選定評価結果報告書の案について

(説明事項)

- ・多面的評価のとりまとめ

(質疑)

事務局 : 報告書に記載する多面的評価のとりまとめの表現について、案 1 の箇条書き形式とするのか、案 2 の文章書き形式とするのか、案 1 の 1 段落目だけとして評価方法のみ記述する形式とする案 3 とするのか、決定していただきたい。

委員長 : 案 1、案 2 について、各委員に事前の聞き取りをしたときから修正している部分があるので、そこを説明いただきたい。

(案 1、案 2 について、事前の聞き取りをしたときからの修正点を説明。)

委員長 : 意見交換してから採決したいと思うが、いかがか。

委員 : 多面的評価についての考え方は以前に「現地視察の結果や相对比较項目では評価しがたい項目間の相互関係や全体的な視点で評価することから、点数は細かく配分しないことが適当と考えられる。よって全体を見通して多面的に評価する方法を採用する。評価は応募地ごとに 20 点満点で行う」こととして、4 つの評価視点が挙げられており、私は基本的にこれで考えており、それ以上に具体的に何かを記載するのは、多面的評価の考え方からずれると思う。多面的評価は、現地を確認して、各委員が 20 点を持って全体的・主観的に評価するものであるから、評価したあとで、あれこれ考慮した項目を挙げるのは、多面的評価からずれると思う。

委員長 : 報告書案に、多面的評価は「現地視察の結果、相对比较項目による評価では評価が難しい評価項目間の相互関係、全体的な視点での評価、相対評価審査を進める過程で新たに確認された考慮すべき事項等を踏まえて、多面的に評価することとしました」と、3 つのことが記載されており、それ以外のことを書くと、いろいろな誤解が生じるということか。

委員 : 委員長が言うように多面的評価は 3 つの視点がある。あえて書くとすれば、この 3 点には該当しないものがあれば記述すべきかもしれない。

委員長 : 多面的評価は、各委員がかなり柔軟性を持って評価をすることが前提で、評価の仕方は各委員の裁量に任せるということが共通認識だったと思う。そういう意味では、案 1 で

も案2でも、全委員がここに記述されているような考えで評価したと受け取られてしまうことになり、少し引かかる。案1から「主に」という文言を削除したのは、こういうことを踏まえたものと思う。

委員 : それぞれの委員が総合的に判断しているのに、項目を列挙すると、それらに縛られて判断している印象になる。文章中に溶け込ませた表現のほうがよりやわらかく、私は案2が良いと思う。

委員 : 確認だが、報告書すべてをホームページで公表するということか。

事務局 : 報告書の最終版はすべて公表する。

委員 : 相対比較項目による評価の公開内容について、もう少し配慮する必要があると考えていることもあり、案2か案3か微妙なところだが、案2はもう少し言葉を補ったほうが良いと思う。

委員 : 第9回委員会において、視点の例を挙げる方向性は決まったとの認識でいた。

委員長 : 今回決定すればよく、案3も含めた議論で良い。

報告書案に多面的評価の方法が示されており、評価結果についても、ここと正確に表現をあわせたほうが良いと思う。また、案1にも案2にも「総合的に」との言葉があるが、相対比較項目による評価と多面的評価を合わせて総合的にとなるので、これは「多面的に」としたほうが良いと思う。

委員 : 12名の委員がいろいろな角度から評価しており、そのイメージが伝わるのは案2である。案1は、挙げられている項目が重要視された感がある。

案2に「評価に当たっては、地形・地質の状況による地盤対策」とあるが、応募地周辺のボーリングデータが提供されており、新しい評価項目と言える。また、「敷地の形状による施設配置」や「景観との調和」についても、現地視察をしたことで理解できたことと思う。「長浜市民や米原市民からのアクセスの良さ」や「搬入道路との接続状況」についても同様で、現地視察をすることで詳細がわかった。案2のように抽象化すれば、何の問題もなく素直に受け取れると思う。

私も「総合的に」との言葉は「多面的に」としたほうが良いと思う。

委員長 : 事前の聞き取りをしたときの意見にはこだわらなくて良いと思う。案2を推す意見が多いが、他の委員はいかがか。

委員 : 案2がダメというわけではないが、案1のほうが、12名の委員がどのような視点をもたれていたのかがわかりやすい。

委員 : 私も「総合的に」との言葉は「多面的に」としたほうが良いと思う。

多面的評価はもともと、相対比較項目による評価の重み付けを現地視察や新たな情報を加味して評価することにしており、説明的な記述をすることに特に問題は無いと思う。記述の仕方については、案1は具体的過ぎると懸念する意見があったが、はっきりしていてわかりやすく見えるので、案1が良い気がする。「一部を例として挙げる」など、表現を丁寧にするれば、懸念されているところは和らぐと思う。案2は、読み方によっては全員がこれらを考慮したように見えてしまう。また、どういう多面性であったのかわかりにくいと思う。もっといろいろな意見はあったが、例として委員の意見を挙げている案1が良い。

- 委員 :住民目線で考えると、後で話し合った内容がわかるように、具体的な案1が良いと思う。
- 委員 :今まで4つの評価視点で議論してきており、現地視察等を踏まえて採点した結果も、全体の評価と大きく変わるものでなかったもので、議論された観点などを凝縮して記述した案2で良いと思う。
- 委員 :どちらがダメと言うものではないが、議論があったことができるだけ記述されている案1がわかりやすいと思う。
- 委員 :事前の聞き取りでは案2が良いと言ったが、これまでの議論を聞いていると、個人の心象の中で具体的に評価したところもあるので、案3が良いと思う。
- 委員 :委員の意見が割れている。主観的に各委員が評価されたことなので、これを文章化するのは難しいのではないかと。多面的評価は、この方法で、この視点で行ったというところを文章にして記載する案3が良いと思う。
- 委員長 :すべての委員が同じ視点で評価したと思われないう案2に、委員によって重視したことが異なる趣旨の表現を入れたほうが良い。案2と案3を比較すると報告書を読まれた応募地の皆さんのことを考えると、案2のほうが良い気がする。
- 各案とも微修正をする必要があるが、それは後で議論することとして、意見は出尽くしたと思うので、案1～案3のいずれか1つを選んで挙手いただき、いずれの案も出席委員の過半数を獲得しなかった場合は、上位2つの案で再び挙手いただく形で決定することの良いか。
- (異議なし)
- 委員 :これまでの議論で出た意見による修正を行うことを想定して判断するということが良いか。
- 委員長 :それで良い。では、採決する。
- (案1 : 4名、案2 : 5名、案3 : 2名)
- 委員長 :いずれの案も過半数に達しなかったため、案1と案2で再び採決する。
- (案1 : 4名、案2 : 7名)
- 委員長 :案2を採用することに決定する。
- 委員長 :案2の修正を行う。冒頭の多面的評価の仕方については、報告書案の「現地視察の結果、相対比較項目による評価では難しい項目間の相互関係、全体的な視点での評価、相対評価審査を進める過程で新たに確認された考慮すべき事項等を踏まえて、」との記述をそのまま使って、結びを「各委員が多面的に20点満点で評価を行いました。」とするのが良いと思う。
- 2段落目は、「評価に当たっては、」に続いて「各委員によって重点は異なりますが、」との記述を追加して、このような文章でいかがか。
- 委員 :3段落目に「委員12名による総評価点数から平均点を算出し、委員会において審議を行った結果」とあるが、実際の手順は逆であって、審議を行った上で評価して平均点を出しており、入れ替えていただきたい。
- 委員長 :「委員会において審議を行った」は削除したほうが良いか。
- 委員 :「意見交換」なら良いが、「審議」はおかしい。削除して良いのでは。

委員長 : では、「委員 12 名による総評価点数から平均点を算出し」とするとどうか。

委員 : 良いと思う。

委員長 : 修正したこの案で良いという委員は挙手いただきたい。

(挙手多数)

委員 : 「各委員によって重点は異なりますが、」とあるが、「観点や重点」とするのはどうか。

委員によって見方が異なる旨を入れていただきたい。

委員長 : 「各委員によって観点や重点は異なりますが、」とするとどうか。

委員 : それで良い。

委員 : 列挙されている事項の前に「主に」とつけてはどうか。これだけと思われぬように。

委員によって観点がそれぞれ異なることが表現できれば、という趣旨である。

委員 : 「など、様々な」との文言があるので、「主に」は無くても良いと思う。

委員 : 「主に」とすると、序列化されるので良くないと思う。

委員長 : では「主に」はつけないこととする。

委員 : 観点には、重点と言う意味も含まれるため、観点だけでも良いのでは。

委員 : 「観点」と「重点」を並列に置くのは、委員によって観点が違い、それぞれの観点の中の重点の置き方も違うためである。

委員長 : 重なる部分はあるが、見るポイントが人によって異なることと、ポイントは同じだが重視するポイントが異なることがあるので、観点を追加したと思う。

委員 : 今のままで良いのではないか。

委員長 : このままとする。

以上の修正をして、これで決定してよければ挙手いただきたい。

(全員挙手)

委員長 : これで、多面的評価のとりまとめを決定する。

(説明事項)

・報告書全体

(質疑)

委員長 : 議事概要・資料の欄について、後半「一部公表」としているが、議事概要の一部公表ではなく、資料の一部公表ではないか。表現が曖昧である。

欄が狭いのでこのままだでもよいが、議事概要は公表で、資料については一部公表なので、「一部公表」という意味合いか。

事務局 : そうである。

委員長 : 指摘いただいた点は修正することを前提に、選定評価結果報告書を決定する採決をとりたいと思う。賛成の方は挙手いただきたい。

(全員挙手)

委員長 : これで決定する。

④その他

(説明事項)

・管理者への報告について

(質疑)

委員長 : 答申案について、「1. 選定評価結果」が「報告書のとおり」となっているが、応募地の順位付けをすることがこの委員会の役割であり、この記述でもいいが、もう少し丁寧に、4つの応募地とも資格判定審査に適合し、相対評価審査で順位付けを行ったと記述したほうが良いと思う。

「推奨候補地」ではなく、「第1候補地」のほうが良いのではないか。

事務局 : 承知した。「1. 選定評価結果」は、報告書の文面にあわせて記述する。

委員 : 「2. 第1候補地」は、「2. 推奨候補地」のままで良いのではないか。1位なので当然推奨になるが、はっきりさせたほうが良い。

委員長 : どちらでもかまわないが、事務局の考えはどうか。

事務局 : 報告書では第1位としているが、推奨する候補地がどこか示したいので「推奨」が良い。

委員長 : では、答申を採決したいと思う。これでよければ挙手いただきたい。

(挙手多数)

委員 : 私は「第1候補地」が良い。順位付けだけでも、管理者側で十分審議可能である。今後どうなるかわからないので、柔軟性を持たせたほうが良いと思う。

委員長 : 私もその意見に近いが、多数意見を採用して「推奨候補地」で決定する。

委員会を代表して委員長・副委員長が管理者に提出することについて、それでよければ挙手いただきたい。

(全員挙手)

委員長 : では、そう決定する。

⑤管理者あいさつ

センター管理者から閉会の挨拶

⑥閉会

午前12時00分閉会

以上